

2025年 8月28日発行 会報 第1248号

今週のプログラム

(2025年 8月28日 第1248回例会)

「地区各委員会関係スケジュール確認
と出席者確定」
各委員長

次週のプログラム

(2025年 9月4日 第1249回例会)

「活動予定報告」
国際奉仕・財団・米山・国際交流
各委員会

第1247回 例会 (2025年 8月21日) の記録

《会長の時間》

水本 徹 会長

皆様お久しぶりです。

先週はお盆休みで休会でしたが、どの様に過ごされましたでしょうか。

まだまだ続く 36度と酷暑の中、熱中症には十分お気を付けて下さい。

さて、7月に新年度がスタートし、2か月が経とうとしていますが、私自身まだ調子に乗れなく少し焦り始めていますが頑張って参りますので、何卒皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、直近でも九州地方・能登地方はじめ各地で豪雨災害が起こっています。心よりお見舞いを申し上げますとともに一日も早く復興されることを祈念致します。

今年度、皆様と一緒にいきます支援活動に付きましてのご提案を重ねてお願い致します。

皆様からのご提案を皆様と協議し、昨年度の内灘地区支援の様な活動を一つでも実行することを目標に進めて参りたいと考えております。



<お客様> 米山奨学生 グエン・カム・フン様

<出席報告> 山本雅之 SAA補助

会員数 15 名（内出席免除会員 4 名）

本日の出席者数 11 名

（内出席免除会員 1 名・名誉会員 0 名）

本日の出席率 91.7%

<ロータリーソング> 全会員

♪日も風も星も♪

さわやかな朝だ われらはロータリアン

いつもほほえみ いつも元気で

さあ 出掛けよう

日も風も星も ラララ光るよ

≪幹事報告≫

山本友亮 幹事

・今後の例会予定を申し上げます。

8 月 第4週 8月28日（木）「夜例会」

時間：18時30分開会 場所：ル・ジャルダン

プログラム「地区各委員会関係スケジュール確認と出席者確定」

9 月 第1週 9月4日（木）「夜例会」

時間：18時30分開会 場所：ル・ジャルダン

プログラム「活動予定報告」

国際奉仕・クラブ財団・米山奨学・国際交流 各委員会

第2週 9月11日（木）「昼例会」

時間：12時開会 場所：江坂ゴルフレストラン

プログラム「2024-25 年度会計報告と今後の予算について」

第3週 9月18日（木）「夜例会」

時間：18時30分開会 場所：ル・ジャルダン

プログラム「今後の奉仕活動についての提案・意見交換」

第4週 9月25日（木）「昼例会」

時間：12時開会 場所：江坂ゴルフレストラン

プログラム「クラブ活性化を目指して提案例会」



《SAA報告》

山本雅之 SAA補助

＜委員会報告＞ なし

＜スマイルBOX＞

※米山記念奨学会

水本会員 残暑お見舞い申し上げます！
藤田会員 皆様 残暑お見舞い申し上げます！
相原会員・高尾会員・山本雅之会員・高田会員 コメントなし

※メイプル基金

山本友亮会員 いつまで夏なんですかね？
水島会員 9月も暑いそうな！
藤田会員 親睦例会 皆様のアイデアを宜しく!!
高尾会員 コメントなし

※ロータリー財団

石田会員 コメントなし



《プログラムの変更について》

プログラム担当 藤田会員

当初9月に予定していました「大阪・関西万博での例会開催」について、
万博訪問を経験された岸上会員に状況をお聞きしました。

入場の現状は、猛暑と湿度の影響で厳しい状況にあり、暑さを避けるための待機列対策や熱中症対策が必要。入場者数が大幅に上昇しており、当日のパビリオンには数時間待ちの行列ができています。行列に並んで入場できるのは良い方で、その並びすらもできないくらいの混雑状況になっている。予約困難で、並ばないと食事も時間が掛かる。

皆様のご意見をもとに「大阪・関西万博での例会開催」は、見送りとします。

また、10月8日に万博会場で武道演武を披露する渡邊会員から当日の説明と参加希望者への連絡（登録）方法をご説明いただきました。

特に、東ゲートは15時頃まで非常に混雑することが予想されており、来場予約を持っている時間以降であれば、何時でも入場可能です。夜間券で16時から入場できる「トワイライトキャンペーン」も実施されています。来場者は、日傘やサングラス、冷却グッズを活用しながら、暑さをしのぎに必死です。

「迅速な診断を可能にするポータブルエコー」

国際交流・青少年委員会 石田夕子委員長

ジュニア世代のスポーツによるケガ予防の取り組み

ジュニア世代のスポーツ障害ゼロを目指す活動に協賛しており、小型・軽量でワイヤレス接続に対応したポータブルエコー「超音波診断装置」のご紹介です。

エコー（超音波検査）は、通常、病院で使用しており、比較的大きいので持ち運びは困難です。

最近、持ち運びができるコンパクトなエコーが開発され市販されてきました。従来の据え置き型では難しかった多様な現場での迅速な診断を可能にする点が主な必要性です。

特に、院外での検査や在宅医療、スポーツ現場などでの活用を想定しており、持ち運びの容易さ、スマートフォン・タブレットでの操作性、患部記録機能、バッテリー駆動時間の長さなどが、現場でのニーズに応える重要な機能となっています。

エコーは、医師のほかトレーナーなども扱うことが可能ですので、スポーツ現場での即座の判断に役立ちます。主に靱帯損傷や筋損傷などを確認することができます。

医療現場における多様なニーズへの対応

働き方改革によるタスクシフトが進み、医師だけでなく看護師などの医療従事者やトレーナーがエコー（超音波検査）を行うケースが増えています。

- ・在宅医療・往診：医師や看護師が患者宅を訪問する際に携行し、その場で状態を評価できます。
- ・救急医療：救急現場や災害時など、電源が確保できない環境でもバッテリー駆動で検査できます。
- ・スポーツ現場：試合や合宿中にアスリートの負傷を迅速に評価し、初期治療方針を決定するのに役立ちます。

そうした幅広いユーザーのニーズに応えます。



Aplio air



